



宮城県職員募集2025

総合土木 (農業土木)

業務紹介



◆ 概要

農業農村整備の推進

農地・農業用施設等の整備、災害復旧

農村の振興、魅力的な地域づくり など さまざまな業務

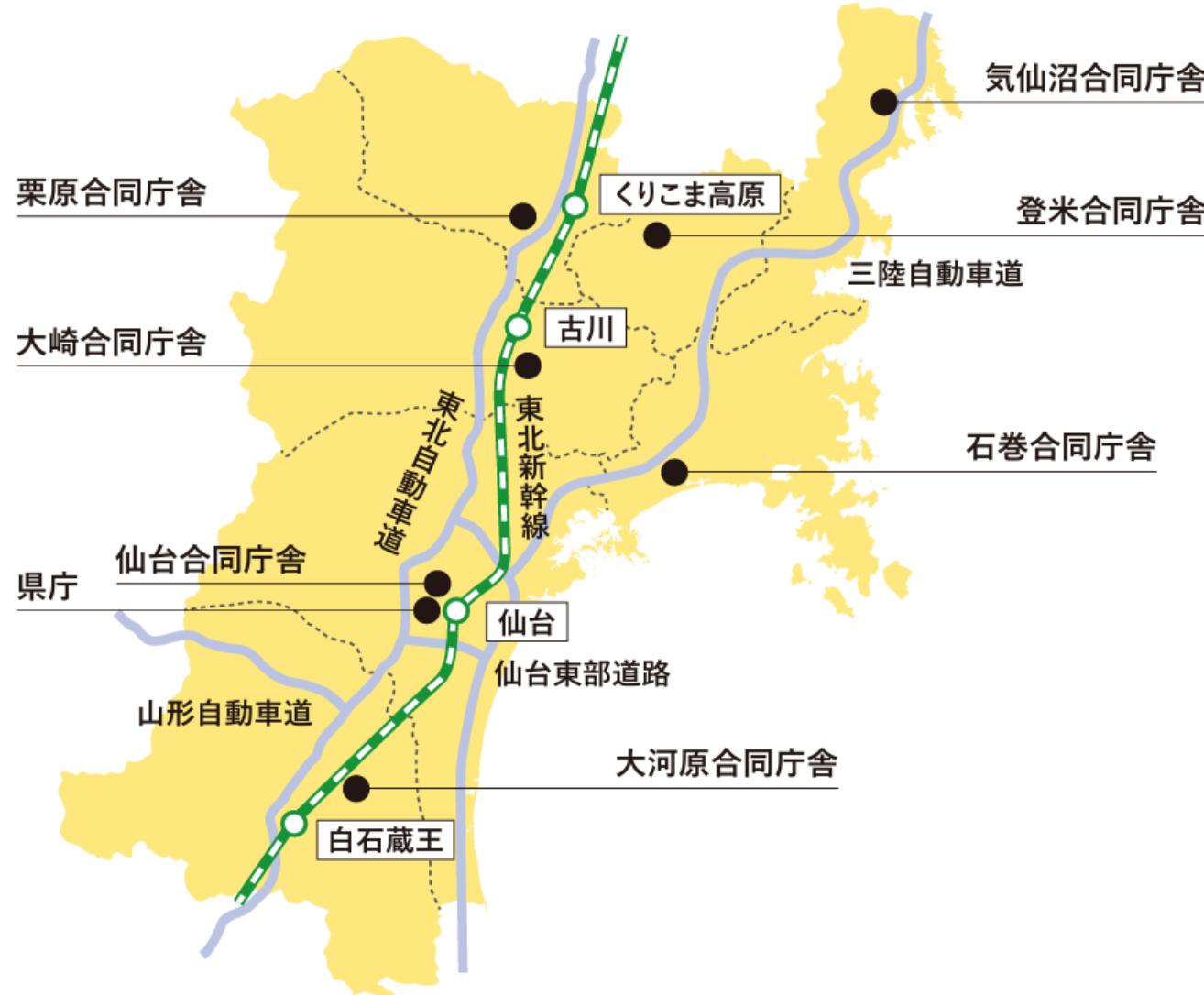
◆ 勤務先

本庁各課（農村振興課、農村整備課、農村防災対策室、農山漁村なりわい課 など）

地方機関（各地方振興事務所（地域振興事務所）の農業農村整備部 など）

主な勤務先

交通のアクセスが良く、多くの地方機関が通勤圏内！



✓ 通勤に便利

仙台はもちろん、各地方機関
への通勤が便利

✓ 異動があっても安心

大抵が通勤可能なので、異動
のたびに引っ越しなくてOK

自己紹介

- ◆ 出身 : 岩手県
- ◆ 入庁までの経歴 : H23.3 県外大学卒業、H23.4 入庁

入庁後の異動歴 (現在入庁15年目)

地方機関 H23.4～

栗原地域事務所 農業農村整備部 農地整備第2班
農地整備事業（水田の区画整理工事）など

本庁 H26.4～

震災復興・企画部 地域復興支援課 土地対策班
国の補助金業務、地籍調査（測量成果等）の検査 など

地方機関 H29.4～

東部地方振興事務所農業農村整備部 水利施設保全班
仙台地方振興事務所 “ **農地整備第3班**
東日本大震災からの復旧・復興工事（農地・農業用施設）など

地方機関 R 2.4～

農政部 農業政策室 企画班

農政の総合的な企画（長期計画の推進・進捗管理、重点方針策定）など

本庁 R 4.4～

農政部 農村振興課 企画調整班（現在）

農村地域における再生可能エネルギーの導入推進、リクルート活動の実施 など

本庁 R 7.4～

志望動機

◆ なぜ公務員？

- ・ 学生時代に学んだことを生かし農業・農村に貢献したい
- ・ 特定の業務だけではなく様々なことを経験できる

◆ なぜ宮城県庁？

- ・ 岩手県南出身で位置的に宮城県に近く馴染みがあった
- ・ 住みやすく通いやすい（交通のアクセスが非常に良い）

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- ・ 工事を担当するのは先の話？
- ・ 技術職は専門的な業務だけ？
- ・ 何となく黙々とお役所的な仕事？

正直、あまりわからなかった

◆ 入庁してみたら…

- ・ 1年目から工事に携わることができる（発注や工事監理）
- ・ 長期計画など行政的仕事も含め、様々な経験ができる
- ・ 多様な主体（地域住民、業者、市町村、土地改良区）と関わりながら仕事をする機会が多い



これまでに担当した業務の紹介①

◆ 地方機関

- ・ 水田の区画整理工事（工事の発注、進捗管理、各種協議）
- ・ 東日本大震災からの復旧・復興工事（農地・農業用施設）
- ・ 田んぼの生き物調査、海外研修生の受け入れ など



これまでに担当した業務の紹介②

◆ 本庁

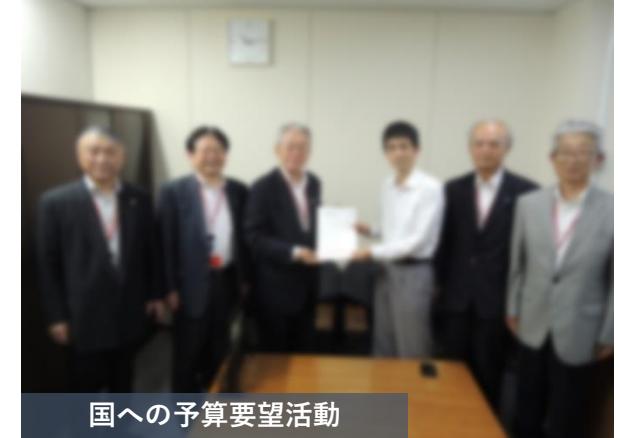
- ・ 農政の総合的な企画（長期計画の推進や重点方針の策定）
- ・ 農村地域における再生可能エネルギー導入、リクルート活動
- ・ 国の補助金業務、地籍調査（測量成果等）の検査 など



執務室の様子（オフィス改革後）



会議の開催（大学や関係機関との連携）



国への予算要望活動

印象に残っている業務

● 初任地でのほ場整備工事（水田の区画整理）

- ・ 班の全面バックアップのもと、地元説明会や工事監理などを行い、区画の整った水田ができしたこと、農業者の方々に喜んでいただけたこと。
- ・ 農地の保全活動に参加したり、海外からの研修生を受け入れ、実習や農家体験を行うなど、地域の方々と密接に関わり、様々な経験ができた。



地域の皆さん、様々な関係機関と、楽しくにぎやかに！

現在の担当業務の紹介

◆ 農村地域における再生可能エネルギーの導入

- ・持続的な農林水産業の実現に向けて、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を推進中
- ・庁内関係課・地域と連携し、前向きに取り組んでいる



仕事をする上で心がけていること

- **地域に貢献できるよう、着実に物事を進める**

- 目的を持って、地域の役に立つように考える
- 周りの意見を聞いたり、工夫して前に進める

- **わかりやすい情報共有、情報提供を行うこと**

- 1人で完結する仕事はほとんどないので、職場内や関係機関、農業者の方々に対しても、丁寧な情報共有を心掛けている

職場内は意見交換がしやすく、チームで行う環境が整っています

仕事のやりがい

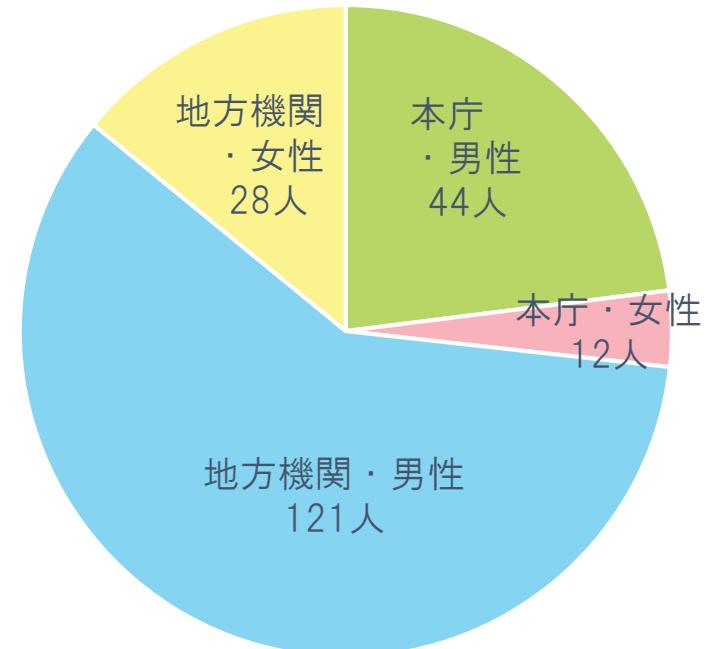
- 自分が携わった成果が目に見える形で残る
- 明確に地域に貢献できる
(営農条件の改善、
排水機能の強化など)
- 目的達成に向けて組織や
関係団体と課題解決しながら、物事を進められる



職場の雰囲気

- オープンな（堅苦しくない）雰囲気
- 仕事は3～6人の班体制で、色々と相談しやすい
- メンター制（新規職員の相談役）もあるので、初めての業務でも大丈夫
- 職員同士のつながりも強い
総合土木（農業土木）の職員数は、全体で205人

総合土木（農業土木）の職員数



宮城県職員の魅力

- 様々な業務を経験することで視野が広がる
(研修も充実していて、成長を実感できる)
- いざという時のチームワークが◎
- 恵まれた福利厚生
(休暇も取りやすい、時差勤務も可)
- 宮城の暮らしやすさ、交通アクセスの良さ◎



民間企業、国や市町村との違い

公務員	民間企業
<ul style="list-style-type: none"> 設計、施工のほか、事業計画など幅広く担当できる。 国への予算要求や他部局で仕事をする場合もあり、様々な分野で活躍が可能！ 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの分野に特化することが多い。 スペシャリスト（業務の幅は限定的） (例) 設計：コンサルタント 施工：建設業者

国（東北農政局）	県	市町村
大規模な工事を経験できるが、勤務地が東北全体となるため、転勤が多く、単身赴任となる可能性が高い。	予算規模もそれなりに大きく、規模の大きな仕事も可能！ 勤務先も仙台市や大崎市からほとんど通勤可能！	転勤も少なく通勤時間も比較的短いが、予算規模が小さめ。 1つの部署で様々なことを処理する必要がある。

公務員試験対策

〔高校卒業程度試験〕に合格した先輩職員たちの体験談



◆ いつから準備した？

- ・ 始めた時期は3年生になってから（早い人は2年生の冬から）

◆ どんな勉強を？

- ・ 学校の先生との対策が多い。場合によって民間の講習会も活用。
(市販の問題集や学校の教材、面接準備も1次試験準備と並行して)

◆ 先輩からのアドバイス

- ・ 不安、疑問点はOB・OGに聞いてみる ⇒ 不安解消＆モチベーションUP
- ・ 基本は過去問などで基礎固め ⇒ その上で応用もできると安心

先輩職員からのメッセージ

まずは、今の高校生活を最大限、楽しんで、
自分の可能性を大きく広げてください

地方勤務の場合は、その土地のおいしいものを
食べつくす楽しみあり

沿岸事務所であれば勤務後に海釣りを
楽しむなど、勤務地ならではの楽しみもあり

地域・農業者のためになる、やりがいのある仕事です



宮城県庁でお待ちしています！



県公式ページについて（リンク集）

公式Webサイトもぜひご覧ください



職員インタビュー（動画）

職種紹介 インタビュー記事
(総合土木 (農業土木))



| Q2：やりがいがあった、嬉しかったというエピソードがあれば教えてください。

東部地方振興事務所勤務時、東日本大震災で被災した農地の工事を担当しました。海岸堤防の復旧工事中で、まだ海水が流入している区域があり、施工できる区域から工事を進め、営農を再開していくという状況でした。すべての区域が完了する前に異動となりましたが、数年後に訪れた際、稻や大豆が一面に青々と作付けされている様子を見て、胸がいっぱいになりました。少しでも復旧復興の役に立てたかと思うと、とても嬉しかったです。

| Q5：学生時代の経験が生かされていると思ったことは？

どんなことにも興味を持つことです。
学生時代、卒業単位に関係のない講義、遊びやアルバイトなど興味を持ったら何でもチャレンジしました。人前で話すことが苦手でしたが、様々な経験により段々と自信を持って人と接することができるようになりました。何でもやってみることと、それに伴って付いた体力が仕事に役立っていると感じます。

| Q6：宮城県職員を目指した理由を教えてください。

東日本大震災で被災した農地の復旧・復興に携わりたい、県という組織の力で復旧・復興に大きく関わりたいと考え志望しました。今後、大きな災害が発生しても、早期に営農を再開できるような環境づくりをしたいです。また、お米を食べるのが大好きなので、一生お米を作れる土台づくりをしたいと考え基盤整備の仕事を志しました。

採用試験の例題・過去の出題課題も公式Webサイトで公表しています

